

いじめ防止等のための組織図

鹿児島県立開陽高等学校全日制課程

いじめ防止に関する学校の目標

- ①いじめを人権問題としてとらえ、「人間として絶対許されない行為」であるという意識を徹底させる。
- ②いじめを許さない学校・学級づくりを進めるため、教職員の意識や日常的な姿勢を高める。
- ③いじめの未然防止・早期発見に努め、即時的・組織的に対応し、解決・解消へつなげていく。

校訓
夢・実現

高校教育課との連携

- ・生徒指導担当指導主事の派遣及び助言
- ・専門的知識及び経験を有する専門家の派遣依頼

関係機関等との連携

- 警察署・県子ども総合療育センター・児童相談所・県総合教育センター・民生委員・スクールカウンセラー(以下SC)等

PTAとの連携

- PTA総会での啓発
- 鹿児島市PTA連合会との連携

【いじめ防止推進委員会】

- ①いじめの未然防止・早期発見に向けた学校の取組の検討及び生徒・保護者への周知
- ②いじめ防止に係る年間の取組の検証
- ③事案発生時の対応の決定及び各校務分掌への指示
- ④定期的な職員研修の実施

【構成メンバー】…兼務可

委員長 校長

委員 (学校関係者) 教頭 総括教頭 生徒指導部主任 該当年次主任
養護教諭 企画・生活指導係、人権同和教育係、
教育相談係から各2名
(第三者委員) 臨床心理士 スクールサポーター PTA会長

いじめ事案認知時は『いじめ即応チーム』を編成

教頭、生徒指導主任、当該年次主任、当該学級担任及び副担任、養護教諭、教育相談係、当該部顧問を構成員として初期対応にあたる

学校組織

(いじめの未然防止・早期発見のための日常的な取組)

教務部

- ①全ての教科における学習意欲の向上に向けた取組と「分かる授業」づくりの実践による基礎学力の定着
- ②全ての授業における人権意識の啓発と情操教育や道徳教育の推進
- ③人権同和教育講演会やアサーション・トレーニング等による自他を思いやる気持ちの醸成と人権意識向上
- ④PTAとの連携による保護者に対するいじめ防止・人権意識の啓発
- ⑤長欠者調査による生徒の実態把握

進路指導部

- ①進路希望調査や三者面談による生徒や保護者の状況把握
- ②総合的な探求の時間(本校では『夢・実現』と呼称)等における生徒の進路意識の高揚と進路学習による自己分析の促進、自己肯定感の醸成

生徒指導部

- ①丁寧で根気強い生活指導を通した基本的生活習慣の確立
- ②学校生活における規範意識(情報端末・SNS利用等の情報モラルも含む)の醸成
- ③「学校楽しい」と等諸調査の分析による生徒の実態把握
- ④中学校訪問や教育相談、家庭訪問等による生活状況や課題等の把握と職員間の情報共有
- ⑤部活動における生徒の主体性と責任感の育成及び感情や行動の制御方法に関する学びの支援
- ⑥生徒会の活性化による学校行事の充実及び人間関係づくりの支援
- ⑦ボランティア活動推進による自己肯定感の醸成

保健部

- ①生徒の保健室への来室状況観察による生徒情報の把握と職員間の情報共有
- ②SCとのコンサルテーションによる生徒情報等の把握と職員間の情報共有
- ③環境美化・清掃活動の推進による自己肯定感の醸成

年次会

- ①日常的な生徒との会話や関わりによる生徒の実態把握
- ②定期的な年次会での生徒情報収集と共通理解
- ③年次集会によるいじめ防止に係る啓発活動